

本会・他学会水環境関連行事一覧

| 開催期日                | 行事                                                         | 開催地   | 案内記事<br>掲載巻号 |
|---------------------|------------------------------------------------------------|-------|--------------|
| <b>2018年</b>        |                                                            |       |              |
| 6月 12日(火)           | 第38回通常総会                                                   | 東京    | 本号           |
| 14日(木)              | グリーンサイエンス21 第12回セミナー「みんなの水道」                               | 東京    | 41巻5号        |
| 15日(金)              | 第18回上下水道膜セミナーおよび膜処理施設見学会                                   | 栃木    | 41巻4号        |
| 15日(金)              | 国立環境研究所公開シンポジウム2018「水から考える環境のこれから」                         | 神戸    | 本号           |
| 22日(金)              | 国立環境研究所公開シンポジウム2018「水から考える環境のこれから」                         | 東京    | 本号           |
| 29日(金)              | 第40回高分子と水・分離に関する研究会講座                                      | 東京    | 本号           |
| 7月 14日(土)～15日(日)    | WET2018 (Water and Environment Technology Conference 2018) | 愛媛    | 本号           |
| 8月 3日(金)            | 第27回市民セミナー                                                 | 東京・大阪 | 本号           |
| 24日(金)              | 第1回はじめての技術セミナー～はじめての次世代シーケンサーを使った活性汚泥の菌叢解析～(1日目)           | 東京    | 本号           |
| 9月 4日(火)～5日(水)      | 第21回日本水環境学会シンポジウム                                          | 島根    | 本号           |
| 16日(日)～21日(金)       | IWA World Water Congress & Exhibition 2018                 | 東京    | 本号           |
| 26日(水)              | 第1回はじめての技術セミナー～はじめての次世代シーケンサーを使った活性汚泥の菌叢解析～(2日目)           | つくば   | 本号           |
| 10月 15日(月)～19日(金)   | 第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦 2018)                                   | 茨城    | 41巻3号        |
| 30日(火)<br>～11月1日(木) | 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会                                    | 福島    | 本号           |
| <b>2019年</b>        |                                                            |       |              |
| 3月 7日(木)～9日(土)      | 第53回日本水環境学会年会                                              | 山梨    |              |

## 会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更があった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎(4月→3月)の扱いで、原則として中途退会はできませんのでご注意ください。

また平成25年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

## 平成 30 年度学生会員の募集について

本会では、ただ今平成 30 年度学生会員を募集しております。入会ご希望の方は下記によりお申し込みください。

**申込方法** 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) からお申し込みください。

### 学生会員制度の概要

#### (1) 会員資格

大学生、大学院生、研究生等で、セミナー・講演会・年会・シンポジウムへの参加を目的とするもの。会員の有効期間は平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで。なお、**本年 3 月の時点で学生会員であった方でも、3 月 31 日で会員資格が失効しています。継続希望の方は、再度、入会申し込みが必要です。学生会員の会員番号の最初の 2 桁は会員資格の年度（西暦 2 ケタ）を示します。**

#### (2) 会費および支払い方法

年間 5,200 円。支払いはお申し込みと同時に行ってください（入金確認後、入会の承認手続きを経た後に正式な会員番号をお知らせします）。

#### (3) 機関誌

平成 28 年度から、学生会員への学会誌の無償配布はなくなり、希望者に頒布することとなりました。学会誌をご希望の学生会員は、入会時に学会事務局（[member@jswe.or.jp](mailto:member@jswe.or.jp)）に希望送付先を連絡の上、学生会員用の学会誌代 3,600 円をご入金ください。ご入金が確認された月以降の学会誌が送付されます（バックナンバーの送付はありません）。**入会時以降の頒布希望の変更は受け付けられません。**入会申込・入金時期によっては、会誌が在庫切れとなることもありますのでご了承ください。

## 本会関連行事

### 第 38 回通常総会のお知らせ

下記の通り第 38 回通常総会を開催いたします。会員各位のご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、総会にあわせて受賞者講演および特別講演を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

学会ホームページの会員専用ページ内の総会出欠登録ページにて、総会への出欠の連絡、議事の委任もしくは議決権行使に関しての手続きをお願い申し上げます（総会出欠登録ページ開設期間は 6 月 11 日（月）午後 6 時まで）。団体会員の方で総会当日出席者が団体代表者以外の方の場合、代理権を証明する書類のご提出をお願い申し上げます。書式は事務局に用意していますのでお問い合わせください。

総会は正会員現在数の過半数のご出席がなければ議事を開くことができません。ご出席いただけない場合には、必ず委任もしくは議決権行使の手続きをおとりくださいますようお願い申し上げます。

#### 記

**日 時** 2018 年 6 月 12 日（火） 13:00～17:00

（表彰式、受賞者講演および特別講演を含む）

**場 所** タワーホール船堀 4 階「研修室」

（東京都江戸川区船堀 4-1-1 Tel: 03-5676-2111/ 都営地下鉄（新宿線）「船堀」駅徒歩 1 分）

<http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

**プログラム（案）：**

・総会（本会正会員のみのみ）

・表彰式

〈休 憩〉

・受賞者講演

・特別講演（開始予定：16:00）

「調和型都市圏水利用システムの実現に向けて（仮題）」

古米 弘明氏（東京大学大学院工学系研究科附属水環境制御研究センター）

**参加費無料**

終了後懇親会を開催の予定（会費：5,000 円 当日現金受付）

なお、受賞者講演、特別講演には非会員の方の参加（無料）も歓迎いたします。

### Water and Environment Technology Conference (WET2018)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催致します。会議での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

**主 催** 日本水環境学会

**期 日** 2018 年 7 月 14 日（土）～15 日（日）

**場 所** 愛媛大学（愛媛県松山市）

**交 通** 市内電車環状線「赤十字病院前」から徒歩5分

**内 容** 口頭発表とポスター発表のハイブリッド発表

#### 論文投稿方法

JWET への論文投稿は、発表受付メールに記載の方法に従って2018年6月29日（金）までにWeb上で行ってください。投稿された論文は通常の査読が行われ、2018年8月29日（水）までに査読結果を通知いたします。なお、論文投稿の有無に関わらず、WET2018で配布される講演要旨集には要旨のみが掲載されます。

#### 表 彰

Excellent Poster Award を WET2018 の発表者すべてから、Excellent Paper Award を JWET へ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

#### 参加登録

WET2018 の web ページにて、Early-bird registration を 2018 年 6 月 21 日（木）24:00 まで受け付けます。以後は当日受付となります。登壇者（発表申込者）は自動的に事前予約扱いになりますので、事前予約は不要です。いずれの場合も、参加費は当日受付にてお支払いください。

#### 参加費

一般

|            | Participant | Speaker   |
|------------|-------------|-----------|
| Early-bird | 5,000 JPY   | 5,000 JPY |
| On site    | 7,000 JPY   | 5,000 JPY |

学生

|            | Participant | Speaker   |
|------------|-------------|-----------|
| Early-bird | 3,000 JPY   | 3,000 JPY |
| On site    | 4,000 JPY   | 3,000 JPY |

#### 問い合わせ先

WET 事務局

Email : wet@jswe.or.jp Fax : 03-3632-5352

### 第 21 回日本水環境学会シンポジウム 発表申し込み案内

第 21 回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領で開催いたします。各研究委員会主導のプログラムで実施されますが、多くの研究委員会で発表を公募しておりますので、積極的に発表申し込みをしていただきますようお願いいたします。また、本部企画、メタウォーター賞受賞者講演のほか、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッションなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

#### 1. 概 要

**期 日** 2018 年 9 月 4 日（火）～5 日（水）

**会 場** 島根大学松江キャンパス

（〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060）

（<https://www.shimane-u.ac.jp/access/>）

**内 容** 本部企画、支部企画、各研究委員会等の主催によるセッション、若手研究紹介（オルガノ）セッション、メタウォーター賞受賞者講演ほか。

#### 2. 研究発表の募集

セッションを予定している研究委員会、セッション題目、公募の有無、連絡担当者は別表のとおりです。発表を希望される方は、直接、連絡担当者にお申し込みください。

**申込期限** 2018 年 6 月 27 日（水）（必着）

**応募資格** 原則として本学会員に限りま。

非会員で発表希望の方は、連絡担当者にお問い合わせください。

注：「若手研究紹介（オルガノ）セッション」が別表とは別に設定されますが、これについては、別項「2018 年度博士研究奨励賞候補者募集」を参照ください。

#### 3. 原稿作成・投稿方法

**原稿枚数** A4 版 1～2 枚（図表込み）とします。

**原稿書式** 書式・投稿方法については、当学会ホームページに掲載しています。[http://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo\\_youryou.pdf](http://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo_youryou.pdf)

**提出期限** 2018 年 8 月 6 日（月）（必着）

#### 4. 発表形式

発表はシンポジウム形式を原則とし、1 演題 10～20 分としますが、運用の詳細は各研究委員会に一任されています。発表には液晶プロジェクターを利用できますが、パソコンは各研究委員会でご準備ください。

#### 5. 参加申し込み

シンポジウム参加申し込み案内は本号に掲載しています。発表者も必ずお申し込みください。

#### 6. 託児施設

会場から徒歩 5 分の松江市シルバー人材センターが乳幼児の一時預かり（有料）をおこなっています。ご希望の方は直接ご連絡ください。

問合せ・申し込み先

公益社団法人 松江市シルバー人材センター

〒690-0823 島根県松江市西川津町 825-2

Tel : 0852-27-0888 Fax : 0852-27-2737

URL : [https://www.matsue-silver.jp/job\\_list/ukeoi/65](https://www.matsue-silver.jp/job_list/ukeoi/65)

また、託児施設利用の補助を予定しています。施設をご利用の方は takuji@jswe.or.jp にもご連絡ください。

#### 7. 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 シンポジウム係

Tel : 03-3632-5351 E-mail : nenkai@jswe.or.jp

# 第 21 回日本水環境学会シンポジウム 別表

| 研究委員会名                        | セッションタイトル                                | 公募<br>有無 | 開催<br>期日 | 連 絡 先                                                                                                                                  |
|-------------------------------|------------------------------------------|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本部企画（環境省）                     | 環境技術実証事業で実証した水質浄化等<br>技術                 | なし       | 4<br>AM  | 辻川優祐、多田悠人、森紅也（環境省環境研究技術室）<br>Tel：03-5521-8239 Fax：03-3593-7195<br>YUSUKE_TSUJIKAWA@env.go.jp, YUTO_TADA@env.go.jp, KOYA_MORI@env.go.jp |
|                               |                                          |          |          | 見島伊織（埼玉県環境科学国際センター）<br>Tel：0480-73-8353 Fax：0480-70-2031<br>mishima.iori@pref.saitama.lg.jp                                            |
| 本部企画（戦略企画委員会）<br>（全国環境研協議会共催） | 今、地域の水環境行政を創造する                          | 有        | 5<br>PM  | 小林拓朗（国立環境研究所）<br>Tel：029-850-2110 Fax：029-850-2560<br>kobayashi.takuro@nies.go.jp                                                      |
| 嫌気性微生物処理                      | 嫌気性微生物を利用したプロセス研究の<br>最新の動向              | 有        | 4<br>PM  | 松村千里（兵庫県環境研究センター）<br>Tel：078-735-6911 Fax：078-735-7817<br>jswe-ms@ee-net.ne.jp, matsumura-c@hies-hyogo.jp                              |
| MS 技術                         | MS 技術を使った環境微量化学物質の追求                     | 有        | 4<br>PM  | 稲森悠平（国際科学振興財団バイオエコ技術開発研究所）<br>Tel：090-3203-4853<br>y_inamori@fais.or.jp                                                                |
| 生物膜法                          | 有用生物等の浄化機能評価を踏まえた環<br>境保全再生対策技法のアジア展開新戦略 | なし       | 5<br>PM  | 皆已幸也（石川県立大学）<br>Tel：076-227-7476 Fax：076-227-7410<br>yumin@ishikawa-pu.ac.jp                                                           |
| 身近な生活環境                       | 身近な自然を見る・観る・診る<br>～その実践と課題～              | 有        | 4<br>AM  | 久保田健吾（東北大学大学院工学研究科）<br>Tel：022-795-5011 Fax：022-795-5011<br>kengo.kubota.a7@tohoku.ac.jp                                               |
| 微生物生態と水環境工学（旧 PD）             | データは何を語るか？：フィールド／ブ<br>ロセスデータからの機構解明と予測   | 有        | 4<br>PM  | 山本裕史（国立環境研究所）<br>Tel：029-850-2754 Fax：029-850-2870<br>yamamoto.hiroshi@nies.go.jp                                                      |
| バイオアッセイによる安全性評価               | 毒性削減評価（TRE）と毒性同定評価<br>（TIE）              | なし       | 5<br>PM  | 磯部友彦（国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター）<br>Tel：029-850-2910 Fax：029-850-2534<br>isobe.tomohiko@nies.go.jp                                         |
| 水環境と洗剤                        | 流域規模での化学物質管理：測定手法と<br>影響評価（2）            | 有        | 5<br>PM  | 真砂佳史（国際連合大学サステナビリティ高等研究所）<br>Tel：03-5467-1212 Fax：03-3499-2828<br>masago@unu.edu                                                       |
| 水中の健康関連微生物                    | ツールボックスアプローチによる衛生学<br>的水質評価              | 有        | 4<br>PM  | 田中周平（京都大学地球環境学堂）<br>Tel：075-753-5171 Fax：075-753-3335<br>t-shuhei@eden.env.kyoto-u.ac.jp                                               |
| 湿地・沿岸域                        | 沿岸や水辺の環境保全研究の最前線、宍<br>道湖・中海のいま           | 有        | 4<br>AM  | 佐藤祐一（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）<br>Tel：077-526-4044 Fax：077-526-4803<br>sato-y@lber.jp                                                          |
| ノンポイント汚染                      | ノンポイント汚染研究成果の社会還元へ<br>の展望                | 有        | 4<br>PM  | 山田一裕（東北工業大学）<br>Tel：022-305-3933 Fax：022-305-3901<br>yamakazu@tohtech.ac.jp                                                            |
| 水環境教育（WEE21）                  | 湖沼・河川をフィールドにした環境教育<br>の実際と課題             | 有        | 5<br>AM  | 須田康司（水 ing 株式会社）<br>Tel：050-3482-8136 Fax：03-5479-8592<br>suda.koji@swing-w.com                                                        |
| 膜を利用した水処理技術                   | 膜処理が生み出す、「新しい価値」                         | なし       | 5<br>PM  | 恩田建介（水 ing 株式会社）<br>Tel：050-3482-8107 Fax：03-5479-8576<br>onda.kensuke@swing-w.com                                                     |
| 紫外線を利用した水処理技術                 | 地表水が先か、LED-UV が先か<br>～ UV 技術の「明るい」未来～    | 有        | 5<br>PM  | 寺嶋光春（北九州市立大学）<br>Tel：093-695-3212 Fax：093-695-3389<br>m-terashima@kitakyu-u.ac.jp                                                      |
| 産業排水の処理・回収技術                  | 水・資源回収と水処理                               | 有        | 4<br>PM  | 宮里直樹（群馬工業高等専門学校）<br>Tel：027-254-9000 Fax：027-254-9191<br>nmiyazato@cvl.gunma-ct.ac.jp                                                  |
| システム解析                        | 水環境をシステムとして評価する解析手<br>法－アンケート調査を中心に－     | 有        | 5<br>PM  | 小森正人（株式会社ヤマト 大和環境技術研究所）<br>Tel：027-290-1865 Fax：027-290-1897<br>Komori_Masahito@yamato-se.co.jp                                        |
| 電気化学的技術                       | 環境エンジニアリングにおける電気化学<br>的技術                | 有        | 4<br>AM  | 宮城俊彦（元沖縄県衛生環境研究所）<br>Tel：090-9785-3051<br>miyagto571123@yahoo.co.jp                                                                    |
| 熱帯・亜熱帯地域水環境                   | 熱帯亜熱帯地域における地域の暮らしと<br>沿岸域を含めた陸水環境の現状・課題  | 有        | 4<br>PM  | 赤尾聡史（同志社大学）<br>Tel：0774-65-6578<br>sakao@mail.doshisha.ac.jp                                                                           |
| 農産業に関わる水・バイオマス循環<br>技術        | 農産業に関わる水・バイオマス利用のシ<br>ステムを考える            | なし       | 4<br>PM  | 小熊久美子（東京大学先端科学技術研究センター）<br>Tel：03-5841-0547 Fax：03-5841-0547<br>oguma@env.tu-tokyo.ac.jp                                               |
| 将来の水環境変化に対応した水供給<br>システム      | 将来の水環境の変化と水供給の課題                         | なし       | 4<br>AM  | 山室真澄（東京大学）<br>Tel：04-7136-4770 Fax：04-7136-4756<br>yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp                                                        |
| 汽水域                           | 日本の汽水域 その現状と課題                           | なし       | 5<br>PM  |                                                                                                                                        |



## 2018 年度 博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集

### 募集対象者

本年3月末時点で35歳以下の本会会員のうち、博士後期課程大学院生、もしくは2017年1月1日以降に博士後期課程において学位（博士）取得した者で、第21回日本水環境学会シンポジウム（島根大学：2018年9月4～5日）の若手研究紹介（オルガノ）セッションに於いて発表可能な方が対象者となります。ただし、2017年度以前に同賞を受賞された方は対象になりません。

### 応募方法

以下の書類を2018年6月25日（月）（締切厳守）までに、原則として電子的に提出してください。

#### (1) 論文（A4用紙4頁または6頁）

博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集情報 <http://www.jswe.or.jp/awards/organo/index.html> に記載の「日本水環境学会シンポジウム講演集原稿執筆および発表要領（博士研究奨励賞候補者用）」及び原稿書式を参照してください（英文もあります）。論文は、博士課程における研究成果をまとめたものとしませんが、原著論文でも、また既発表の内容を含んだものでも構いません。ただし、図表や文章をそのまま転載すると著作権法違反に問われる場合がありますので、ご注意ください。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本学会が妨げるものではありません。講演要旨の内容に関する責任は著者にあり、当学会が責任を負うものではありません。

#### (2) 関連する研究業績リスト

次の通り、分けて記載をお願い致します。

- ・学術雑誌論文（水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology, Water Research など）については、応募者が第一著者のものとその他に分けて記載してください。また、当該論文の査読の有無を明記してください。
- ・国際会議講演集（Proceedings など）については、IWA 主催のものとそれ以外のものに分け、発表者を明記してください。
- ・国内学会講演集については、本学会関連のものとそれ以外に分け、発表者を明記してください。

#### (3) 大学卒業以降の履歴書

#### (4) 当学会の会員番号

注) 申し込みまでに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。

### 選考方法

提出された論文、関連する研究業績リストに基づき、1次選考を行います。1次選考の結果は、7月末までに、電子メールにて通知いたします。研究業績に関しては大学院生が不利にならないよう、研究期間を加味して評価を

行います。

1次選考を通過した方は、第21回日本水環境学会シンポジウムの若手研究紹介（オルガノ）セッション（9月4日（火））にて発表をしていただき、発表審査を行います。書類選考と発表審査結果を総合的に評価し、博士研究奨励賞受賞者を決定いたします。表彰は当日の懇親会にて行いますので、懇親会にも必ず出席してください。1次選考通過者にはシンポジウム参加に当たり、交通費、宿泊費、参加費および懇親会費が補助されます。

### 応募書類送付・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 シンポジウムオルガノセッション係  
Tel：03-3632-5351 E-mail：kubota@jswe.or.jp

## 第21回日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第21回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領で開催いたします。各研究委員会のセッション、本部企画、本部企画（全国環境研協議会共催）、特別講演会のほか、大学院博士後期課程レベルの研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション、年間優秀論文賞（メタウォーター賞）の受賞者講演など、多彩な企画も用意されています。非会員の方も参加できますので、大勢の方のご参加を期待しております。

### 1. 概要

期 日 2018年9月4日（火）～5日（水）

会 場 島根大学松江キャンパス

（〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060）

（<https://www.shimane-u.ac.jp/access/>）

交 通 JR 松江駅からバスで約20分、タクシーで約10分

### 2. 内容

特別講演会「中海・宍道湖の現状と課題」

参加申し込み、および参加費は不要

9月5日（水）午前（10:00～12:10 予定）

【演者】

・神谷 宏 氏（島根県保健環境科学研究所）

・國井 秀伸 氏（島根大学名誉教授）

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

4日（火）午前

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

4日（火）17:10～17:50

研究委員会、本部企画セッション

4日（火）午前（9:00～12:30）

将来の水環境の変化と水供給の課題

（将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会）

環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術

（本部企画）

沿岸や水辺の環境保全研究の最前線、

宍道湖・中海のいま（湿地・沿岸域研究委員会）

身近な自然を見る・観る・診る～その実践と課題～  
(身近な生活環境研究委員会)  
環境エンジニアリングにおける電気化学的技術  
(電気化学的技術研究委員会)

4日(火)午後(13:30～17:00)

水・資源回収と水処理  
(産業排水の処理・回収技術 研究委員会)  
MS 技術を使った環境微量化学物質の追求  
(MS 技術研究委員会)

農産業に関わる水・バイオマス利用のシステムを考える  
(農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会)  
熱帯亜熱帯地域における地域の暮らしと沿岸域を含めた陸水環境の現状・課題

(熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会)  
ツールボックスアプローチによる衛生学的水質評価  
(水中の健康関連微生物研究委員会)  
嫌気性微生物を利用したプロセス研究の最新の動向  
(嫌気性微生物処理研究委員会)  
データは何を語るか? : フィールド/プロセスデータ  
からの機構解明と予測

(微生物生態と水環境工学 研究委員会)  
ノンポイント汚染研究成果の社会還元への展望  
(ノンポイント汚染研究委員会)

5日(水)午前(9:00～12:30)

湖沼・河川をフィールドにした環境教育の実際と課題  
(水環境教育研究委員会(WEE21))

5日(水)午後(13:30～17:00)

流域規模での化学物質管理:測定手法と影響評価(2)  
(水環境と洗剤研究委員会)  
日本の汽水域 その現状と課題(汽水域研究委員会)  
今、地域の水環境行政を創造する

(本部企画:全国環境研協議会共催)  
水環境をシステムとして評価する解析手法-アンケート調査を中心に-(システム解析委員会)  
地表水が先か、LED-UV が先か～UV 技術の「明るい」  
未来～(紫外線を利用した水処理技術研究委員会)  
毒性削減評価(TRE)と毒性同定評価(TIE)

(バイオアッセイによる安全性評価研究委員会)  
有用生物等の浄化機能評価を踏まえた環境保全再生対  
策技法のアジア展開新戦略(生物膜法研究委員会)  
膜処理が生み出す、「新しい価値」  
(膜を用いた水処理技術研究委員会)

懇親会 9月4日(火)18:00～20:00

ニコラ(島根大学学生食堂)

### 3. 参加申し込み案内

会場準備の都合上、なるべく予約申し込みをしてください。すでに研究発表を申し込まれた方も、改めて参加申し込みが必要です。なお、学生会員とは、学会に本年

度の学生会員として登録を済ませた方の意味です。

(1) シンポジウム参加費および懇親会参加費

| シンポジウム参加費 | 予約申込     | 当日申込     |
|-----------|----------|----------|
| 本 会 会 員   | 5,000 円  | 6,000 円  |
| 学 生 会 員   | 3,000 円  | 4,000 円  |
| 非 会 員     | 18,000 円 | 19,000 円 |
| 学生非会員     | 8,000 円  | 9,000 円  |
| 懇親会費*     | 3,500 円  | 4,000 円  |

\*: 参加者に同伴して懇親会に参加する  
家族(小学生以下)は無料

(2) 予約申込方法

下記要領により、インターネットを利用して申し込み、  
期日までに参加費を振込んでください。

6月下旬より下記ホームページから予約申し込みが可能  
です。http://www.jswe.or.jp/event/symposium/

(3) 予約申込期限

申し込みのメ切りは、8月20日(月)24:00です。そ  
れ以降は当日申込扱いとなります。

(4) 予約申込時の参加費振込

参加費を8月24日(金)までに指定口座に振り込んで  
ください。振込人名義に申込番号も記載してください。  
名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は別途  
ご連絡をお願いします。8月27日(月)までにご入金  
が確認できない場合は、予約申込みがキャンセルされま  
すのでご注意ください。なお、お振込後、入金が確認で  
きるまで銀行振込で1～3日、郵便振替(ゆうちょ銀行へ  
の振込を含む)で2～8日かかることがありますので、余  
裕をもってご送金ください。

振込先銀行:三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店

普通預金

口座番号:4948527,

名義:シャ)ニホンミズカンキョウガ  
ツカイネンカイグチ

郵便振替※:00180-5-564127

加入者名:(公社)日本水環境学会

※通信欄に申込番号を記載してください。

(5) 参加証/講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。また、そ  
のメールが参加証/講演集引換券となりますので、それ  
を印刷してご持参ください。なお、複数名で一括申込み  
された場合は、お手数ですが参加者は各自で印刷したも  
のをご持参願います。

### 4. ホテルと交通手段について

宿泊施設の案内・斡旋等行ないませんので、各自で手  
配願います。

## 5. 託児施設

会場から徒歩5分の松江市シルバー人材センターが乳幼児の一時預かり（有料）をおこなっています。ご希望の方は直接ご連絡ください。

問合せ・申し込み先

公益社団法人 松江市シルバー人材センター

〒690-0823 島根県松江市西川津町 825-2

Tel: 0852-27-0888 Tel: 0852-27-2737

URL: [https://www.matsue-silver.jp/job\\_list/ukeoi/65](https://www.matsue-silver.jp/job_list/ukeoi/65)

また、託児施設利用の補助を予定しています。施設をご利用の方は [takuji@jswe.or.jp](mailto:takuji@jswe.or.jp) にもご連絡ください。

## 6. 連絡・問合せ先

公益社団法人 日本水環境学会 シンポジウム係

東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel: 03-3632-5351 Tel: 03-3632-5352

E-mail: [nenkai@jswe.or.jp](mailto:nenkai@jswe.or.jp)

### 第 27 回市民セミナー

#### 「豊かな里海の創生～沿岸域と河川流域の関係～」

〈本セミナーは、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施します〉

里海は人の手が加えられた沿岸環境で、日本では古くから水産・流通を基盤として多く地域社会や文化が形成されています。このような沿岸環境では高い生物生産性と生物多様性の維持が可能であると言われ、陸地という里山と同じく人と自然が共生する場所でもあります。健全な里海、つまり豊かで多様な生態系と自然環境を保全することで、私たちは多くの恵みを得ることができます。

健全な沿岸環境を保全するためには隣接する河川流域の役割を適切に理解しておくことが重要です。里海の社会的重要性が認識されつつあり、学術、行政、産業界、市民において沿岸環境管理の取り組みが進められており、その結果として里海づくりに必要な科学的知見、環境保全の方法論、各地での取り組みの経験などが整理されつつあります。

このような背景を受けて本市民セミナーでは、“豊かな里海の創生”をテーマとして取り上げ、持続可能な里海づくりに関する基本的な考え方、最新の科学的知見、市民による取り組みなどをご紹介します。

本セミナーはテレビ会議システムにより、東京と大阪で同時に開催します。

**主 催** (公社) 日本水環境学会

**期 日** 2018 年 8 月 3 日 (金) 10:50～16:30

**場 所** 東京会場：地球環境カレッジホール (いであ (株) 内) (東京都世田谷区駒沢)

<http://www.gecollege.or.jp/gec/gec.htm#02>

大阪会場：いであ (株) 大阪支社 ホール

(大阪市住之江区南港北)

[http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka\\_new.htm](http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka_new.htm)

## プログラム

10:20～ 受付

10:50～ 開会挨拶

11:00～ 沿岸環境管理の考え方と里海づくりの現状 (仮題)

環境省 森里川海プロジェクトチーム

奥田直久 (東京会場)

12:00～ 昼休み

13:00～ 沿岸魚類から見た森里海のつながり

京都大学 フィールド科学教育研究センター

山下 洋 (大阪会場)

14:10～ 豊かな里海を創生するための流域管理の役割 (仮題)

横浜商科大学商学部 小松輝久 (東京会場)

15:20～ 柳川市内の掘割へのニホンウナギの復活に向けた取り組み～「NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く」の足跡と理念～

福岡県立伝習館高校 木庭慎治 (大阪会場)

16:20～ 閉会挨拶

※講師の都合等で一部変更となる場合があります。

**参 加 費** 無料 (ただし、事前申込が必要です。先着順での登録となります)

**定 員** 250 名 (東京会場 150 名、大阪会場 100 名)

**申込方法** Fax, E-mail またはハガキに①参加者氏名 (フリガナ) ②会員・非会員の別③会員の場合は会員番号④希望受講会場⑤連絡先 (所属団体名、住所、電話・Fax 番号および E-mail) をご記入の上、下記宛お申し込みください。参加証 (ハガキ) をお送りいたします。

### 申し込み・問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会 セミナー係 戸川

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: [togawa@jswe.or.jp](mailto:togawa@jswe.or.jp)

### 第 1 回はじめての技術セミナー ～はじめての次世代シーケンサーを使った 活性汚泥の菌叢解析～

次世代シーケンサー (NGS) の開発に伴って、活性汚泥中の微生物を網羅的に解析出来るようになりました。また、装置本体の価格も徐々に低下しており、身近に環境分析に利用されるようになってきています。一方で、活性汚泥中の微生物菌叢を解析する際には、サンプルの保管方法、遺伝子の抽出手順、抽出後 DNA の保管、ならびにデータ解析をする上での注意点など、たくさんのノウハウが必要となります。このトレーニングでは、参



加者が各自2個まで持参したサンプルを使って、DNA抽出・精製、NGSデータ解析を実習していただきます。

講師を担当していただける寺田先生と堀先生は、次世代シーケンサー（NGS）を利用した汚泥の菌叢解析の第一人者であり、菌叢解析に関する著書も非常にわかりやすく、現在でも国内外の学会において活発に活動されています。

次世代シーケンサーについて詳しく知りたい学生、今後NGSの導入を検討している企業、これからNGSによる菌叢解析を実施したい研究機関にとって、絶好の機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

**主催** 日本水環境学会

**期 日** 1日目：2018年8月24日（金）10:00～17:00、  
2日目：2018年9月26日（水）10:00～17:00

**場 所** 1日目：東京農工大学 小金井キャンパス  
（東京都小金井市中町2-24-16）  
2日目：産業技術総合研究所 つくば西  
（茨城県つくば市小野川16-1）

**プログラム（両日参加できることが必須となります。）**

1日目：8月24日（金）

DNA抽出→精製の実習

精製後の試料は、産総研でNGS分析していただきます。実習終了後には懇親会を開催します。

2日目：9月26日（水）

NGS装置の見学→分析結果の受け取り→解析方法の学習

**参加費** 50,000円（正会員・学生会員）  
100,000円（非会員）

参加者は各自2個まで、試料を持ち込めます。

**参加申込締切** 2018年7月31日（火）

**参加申し込み方法** ①参加者氏名、②会員・非会員の別、③会員の場合は会員番号、④連絡先（所属団体名、住所および電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、下記宛てにE-mailにてお申し込みください。

**問い合わせ先**

日本水環境学会戦略企画担当

山村寛（中央大学理工学部）

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

Tel/Fax：03-3817-7257

E-mail：senryakukikaku@jswe.or.jp

## 第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場と

しての機能を果たして参りました。毎年、150件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々のご参加をいただいております。

このたび第24回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。今回は稼働を開始した中間貯蔵施設等（予定）の現地見学会を企画しておりますので、多くの皆様にご参加を頂きますようご案内申し上げます。

**主催** 日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、地盤工学会、日本地下水学会、土壌環境センター

**期 日** 2018年10月30日（火）～11月1日（木）

**場 所** とうほう・みんなの文化センター  
（〒960-8116 福島県福島市春日町5-54）

**内 容（予定）**

10月30日（火）、10月31日（水）

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、特別講演、企業展示他

10月30日（火）懇親会

11月1日（木）現地見学会

※内容は変更になることもありますので土壌環境センターのHPで確認ください。

**参加申し込み方法**

土壌環境センターのホームページ上で必要事項を入力してお申し込みください。（<http://www.gepc.or.jp/>）

**事前参加申込締切** 2018年9月21日（金）

**参加費** 一般：9,000円（11,000円）、  
学生：3,000円（4,000円）  
懇親会会費：6,000円（7,000円）（予定）  
※括弧内は当日受付の場合

**詳細 URL** <http://gepc.or.jp/kenkyu/24th/>

**問い合わせ先**

第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する  
研究集会事務局 担当：木下（kinoshita@gepc.or.jp）  
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階  
（一社）土壌環境センター内

Tel：03-5215-5955 Fax：03-5215-5954

## IWA 関連行事

### The IWA World Water Congress & Exhibition IWA 世界水会議（IWA2018 TOKYO）

**主催** IWA（International Water Association）

**期 日** 2018年9月16日（日）～21日（金）

**場 所** 東京ビッグサイト（東京）

**フルペーパー提出期限** 2018年7月1日

**発表者の参加登録期限** 2018年7月1日

**日 程（予定）**

- ・開会式、ウェルカムレセプション（9月16日）
- ・講演、展示会、ビジネスフォーラム（9月17日～20日）
- ・閉会式、ガラ・イブニング（9月20日）



・テクニカルツアー（9月21日）

参加費（ユーロ）

| 支払日         | 一般    |      | 学生  |
|-------------|-------|------|-----|
|             | IWA会員 | 非会員  |     |
| 登壇者（7月1日以前） | 895   | 1095 | 445 |
| 6月30日以前     | 995   | 1195 | 495 |
| 9月9日以前      | 1095  | 1295 | 545 |
| 9月10以降、現地   | 1245  | 1445 | 645 |

詳細 URL <http://worldwatercongress.org/>

### 他学会関連行事

#### 国立環境研究所公開シンポジウム 2018 「水から考える環境のこれから」

**主 催** 国立研究開発法人 国立環境研究所  
**期 日** 2018年6月15日（金）（関西会場）、6月22日（金）（東京会場）11:45～17:30  
**場 所** 神戸新聞 松方ホール（神戸市中央区）  
 メルパルクホール（東京都港区）

#### プログラム

講演5件：地球温暖化と「水」（塩竈 秀夫）／遙かな尾瀬の水環境史－湿原環境モニタリングと将来－（野原 精一）／うみは宝もの－海底鉱物資源開発と海洋環境保全の両立に向けた取り組み－（越川 海）／バイオエコ技術を活用した流域水環境修復とその新しい展開（徐 開欽）／生きものが棲める水を還そう－生物応答を用いた水環境管理－（渡部 春奈）／ポスター発表20件

**申し込み方法** 詳細は以下の URL をご覧ください

**参加費** 無料

**詳細 URL** <http://www.nies.go.jp/event/sympo/2018/index.html>

#### 問い合わせ先

国立環境研究所 企画部 広報室  
 〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2  
 Tel：029-850-2309 Fax：029-850-2716

#### 第40回高分子と水・分離に関する研究会講座 洗浄を科学する －ファインバブルから産業洗浄まで－

**主 催** 高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会  
**協 賛** 日本水環境学会他  
**期 日** 2018年6月29日（金）  
**場 所** 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館コラボレーションルーム（東京都目黒区大岡山2-12-1）

#### プログラム

【基調講演】ファインバブルの基礎と付着物洗浄  
 （慶応大理工）寺坂 宏一  
 他6件の講演。詳細はホームページをご確認ください。

#### 申し込み方法

下記ホームページよりお申し込みください。

**参加申込締切** 定員70名になり次第締切

**参加費** 企業 14,040円、大学・官公庁 5,400円、  
 学生 2,160円

**詳細 URL** <https://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=1310>

#### 問い合わせ先

高分子学会  
 第40回高分子と水・分離に関する研究会講座係  
 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル 6F  
 Tel：03-5540-3771 Fax：03-5540-3737

### おしらせ

#### 「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成致します。助成の対象者を下記のとおり募集致します。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

#### 〈募集の手引き〉

**応募資格** 本会の個人正会員

**助成内容** 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会の開催等。

**助成金額** 30万円（上限）

**助成期間** 2019年4月1日～2020年3月31日  
 （活動期間が2020年度にわたっても可）

**助成対象件数** 1件

**応募方法** 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送（簡易書留）又はE-mail（kubota@jswe.or.jp）で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

**提出書類**（書式は自由）

- ・応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail、所属、略歴、研究業績（主な発表論文リストや国際的な活動実績）（A4、1ページ程度）
- ・活動の内容を示す計画書（目的、計画、期待される成果を含め A4、2ページ程度）
- ・必要経費の概算書（活動全体にかかる経費（自己資金

を含む)と本会からの助成希望金額を明記してください)

**提出期限** 2019年1月15日(火) 必着

**提出先** 〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

(公社)日本水環境学会水環境国際賞選考委員会

(簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください)

E-mail (kubota@jswe.or.jp)での提出も可(件名に「水環境国際活動賞」と記載してください)

**可否通知** 選考結果については、2019年2月までに応募者に通知致します。

**その他** 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

## 2018年3月号特集「水環境分野で働く若手たち」 別刷配布のお知らせ

水環境分野の次世代育成の観点から、第52回年会に参加した学生会員に2018年3月号特集「水環境分野で働く若手たち」の別刷を配布しました。本企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、希望する会員へ別刷を無償配布することといたしました。

別刷をご希望の方は、会員番号、所属、氏名、使用目的(具体的に)、希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール(kikaku@jswe.or.jp)にて申してください。配布可能部数は約480部で先着順に受け付けます。なお、部数が限られていますので、教育目的以外でのご利用はお差し控えてください。なお、「水環境分野で働く女性たち」(2013年10月号特集の別刷)にも残部(約90部)がありますので、ご希望があればご連絡ください。

## 北海学園大学工学部専任教員の公募

**募集人員** 准教授または講師、1名

**所 属** 北海学園大学工学部社会環境工学科

**専門分野** 環境工学または環境工学関連分野

**応募資格**

(1) 博士(またはPh.D)の学位取得者または、着任時までに取得見込みの方。

(2) 大学の教育・研究および大学運営に対して情熱があり、専門分野の情報発信のできる方。

それ以外は以下詳細URLをご参照下さい。

**採用予定日** 2019年4月1日(月)

**応募方法** 郵送(履歴書、教育歴、研究業績などの書類)

**応募期限** 2018年8月7日(火) 必着

**詳細URL** <http://eng.hgu.jp/teacher02.html>

**問い合わせ先** 北海学園大学工学部社会環境工学科  
学科主任 余湖典昭

〒064-0926 札幌市中央区南 26条西 11 丁目

Tel: 011-841-1161 (内線 7728)

Fax: 011-551-2951 (工学部事務室)

E-mail: yogo@cvi.hokkai-s-u.ac.jp

## 遠山椿吉記念 食と環境の科学賞

日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で、地道に社会に貢献を追及する研究者(個人または研究グループ)を顕彰する賞と位置づけています。今年度の重点課題は、食品の安全、食品衛生、食品の機能、食品媒介の感染症・疾患、生活環境衛生に関わる研究です。

**対 象** 日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

**応募書類** 所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文

**受付締切** 2018年6月30日(土)(消印有効)

**副 賞** 賞金 100万円

※詳細は下記HPをご覧ください。

**問い合わせ先**

一般財団法人東京顕微鏡院公益事業室「遠山椿吉賞」  
運営事務局

〒102-8288 東京都千代田区九段南 4-8-32

Tel: 03-5210-6651

**詳細URL** <http://www.kenko-kenbi.or.jp>

## 島津科学技術振興財団

### 2018年度島津賞候補者推薦のお願い

**募集締切** 2018年7月31日(火)(消印有効)

**応募資格** (貴学会を含む)推薦依頼学会からの推薦が必要

**助成件数** 表彰 1件

**助成金額** 副賞賞金 500万円

**応募方法** 当財団ホームページより申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付

**決定期間** 2018年12月初旬

**詳細URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

**問い合わせ先**

(公財)島津科学技術振興財団

〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地

Tel: 075-823-3240 Tel: 075-823-3241

E-mail: ssf@zaidan.shimadzu.co.jp

## 島津科学技術振興財団

### 2018年度島津奨励賞候補者推薦の募集

**募集締切** 2018年7月31日(火)(消印有効)

**応募資格** (貴学会を含む)推薦依頼学会からの推薦が必要。4月1日時点で45歳以下。

**助成件数** 表彰 3件以内

**助成金額** 副賞賞金 100万円/件

**応募方法** 当財団ホームページより申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付

**決定期間** 2018年12月初旬

詳細 URL <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

**問い合わせ先**

(公財) 島津科学技術振興財団  
〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地  
Tel: 075-823-3240 Fax: 075-823-3241  
E-mail: [ssf@zaidan.shimadzu.co.jp](mailto:ssf@zaidan.shimadzu.co.jp)

**島津科学技術振興財団  
2018 年度研究開発助成の募集**

**募集締切** 2018 年 7 月 31 日 (火) (消印有効)  
**応募資格** 国内研究機関に所属し 4 月 2 日時点で 45 歳以下  
**助成件数** 23 件 (予定)  
**助成金額** 総額 2300 万円 (予定)  
**応募方法** 当財団ホームページより申請書をダウンロードし、直接応募 (所属長の承認必要)  
**決定期間** 2018 年 12 月初旬  
**詳細 URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>  
**問い合わせ先**

(公財) 島津科学技術振興財団  
〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地  
Tel: 075-823-3240 Fax: 075-823-3241  
E-mail: [ssf@zaidan.shimadzu.co.jp](mailto:ssf@zaidan.shimadzu.co.jp)

**2019～2020 年開催 藤原セミナー募集**

藤原科学財団は、科学技術の振興に寄与することを目的として、2019～2020 年の間に「藤原セミナー」の開催を希望する研究者から、下記募集要項に基づいて申請を受け付けます。

**対象分野** 自然科学の全分野  
**応募資格** わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者

**開催件数** 2 件以内  
**開催費用援助額** 1 件につき 12,000 千円以内  
(総額 24,000 千円以内)

\* セミナーの要件など詳細は下記 HP をご参照ください。

**申請方法** 「藤原セミナー開催申請書」(1 通) を、所属組織長を経由して当財団に提出すること。

**申請書提出締切** 2018 年 7 月 31 日 (火) 必着

**問い合わせ先** (公財) 藤原科学財団  
〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12  
Tel: 03-3561-7736 Fax: 03-3561-7860  
URL: <http://www.fujizai.or.jp>

**第 10 回 (2018 年度) とうきゅう環境財団  
社会貢献学術賞受賞候補者推薦について**

**候補者対象**

日本の環境分野において学術的、社会的に特に顕著な業績を挙げた研究者 (個人・共同・団体、外国籍で国内で研究されている方、ただし企業は除きます)。

**社会貢献学術賞**

本賞 1 件: 賞状および賞金 100 万円

**応募方法** 詳細は以下 URL をご参照ください。

**応募期限** 2018 年 8 月 31 日 (金) 必着

**問い合わせ先** (公財) とうきゅう環境財団  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-16-14  
渋谷地下鉄ビル 5F  
Tel: 03-3400-9142 Fax: 03-3400-9141  
URL: <http://www.tokyuenvironment.or.jp/>

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>



## 「水環境学会誌・水質汚濁研究 DVD-ROM 版」販売のご案内

水環境学会誌およびその前身の水質汚濁研究の Vol.1～30 の PDF 版を一枚の DVD に納めたものを販売いたします。原著論文だけではなく、企画記事や会告、表紙等、冊子体のすべてのページ（広告を除く）が電子化されております。タイトルおよび著者についてのキーワード検索機能、特集企画タイトルの一覧表が使用できます。これを機に、書棚のバックナンバーを整理しつつ、これまでの日本水環境学会の 30 年の歴史とその知の集積を振り返ってみてはいかがでしょうか。

価 格 表

|                        |          |                   |
|------------------------|----------|-------------------|
| 定 価 1 枚                | 15,428 円 | 税込（本体価格 14,286 円） |
| 会員価格（正会員，外国会員，学生会員）1 枚 | 10,285 円 | 税込（本体価格 9,524 円）  |
| 会員価格（団体会員）3 枚組セット      | 27,772 円 | 税込（本体価格 25,715 円） |
| 会員価格（団体会員）5 枚組セット      | 41,143 円 | 税込（本体価格 38,096 円） |

### 購入申込方法

#### 1. 購入申込書

購入申込書は、下記のいずれかの方法で入手してください。

- 1) 本会ホームページ（<http://www.jswe.or.jp/publications/data/index.html>）よりダウンロードしてください。
- 2) 本会事務局に請求して、FAX か郵送で入手してください。

#### 2. 購入申込方法

購入申込書に記入の上、FAX か郵送でお申し込みください。

#### 3. 送付方法

レターパックプラス（510 円）でお送りいたします。

#### 4. 支払い方法

DVD-ROM 版に請求書・見積書・納品書を同封し、購入申込書にご記入いただいた支払方法（銀行振込または郵便振替）の口座をお知らせいたします。いずれも振込料金は御負担ください。

#### 5. 問い合わせ先

公益社団法人日本水環境学会事務局：Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352